

パネル展

見学無料

原爆と人間

多くの犠牲者を出したアジア太平洋戦争の終結から今年で72年目を迎えます。戦後、日本では「憲法9条」を制定するなど、二度と戦争をしない国を目指すとともに、「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」といった「非核三原則」や「非核平和都市宣言」をとおして核廃絶を訴える市町村も増えていきましたが、その一方で、近年では、集団的自衛権の行使容認や平和憲法の改正を推し進めるなど、再び戦争のできる国を目指しているかのような動きも出てきています。

今こそ、私たち一人ひとりが「戦争とは何か」、「平和とは何か」について考える機会とするため、豊中人権まちづくりセンターでは広島と長崎に投下された原爆の惨状をとおして、核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを伝える写真やパネルを展示します。ぜひ、お越しください。

8月2日(水)～9日(水)

午前9時～午後5時まで(日曜日を除く)

豊中人権まちづくりセンター2階

◆主催：豊中人権まちづくりセンター

◆企画：(一財)とよなか人権文化まちづくり協会